
Cross Square 1

アロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Cross Square 1

【Nコード】

N4013I

【作者名】

アロ

【あらすじ】

父親が無差別殺人事件を起こし、どんぞりに突き落とされた少女有紀は、ある日魔法使いの少年になる。

そして二人は再会を約束する。有紀が強くなれば きっとまた会えると。

そして、有紀は現代魔術師になった。

i n d e x

「あたし……人殺しの娘だよ」
それは変えることの出来ない真実。

けれど、少年は笑った。

「そっか。奇遇だね。僕の父も人殺しだよ」
そう言った少年の微笑みは、今までの人生で一番暖かいものだった。

あたしの父は有名人で、ついでに私も有名人だ。

といつても、父に比べればあたしは学校内で有名程度だが。

有名人はつらい。発言すれば皆の視線を浴び、郵便ポストには手紙、外を歩けば色々な言葉をかけられる。

だが、あたしの様な有名人が羨ましいという狂っているとしか思えない人間が世間にはたまにいる。そういった人間が世間を騒がせるのも珍しいことではない。

さて、さっき言ったがあたしの父は有名人である。ちょっとテレビを付けて見て欲しい。そしてチャンネルを回す。どのチャンネルでも、話題の中心は父のことで、レギュラー番組が何本も潰れている。

あたし達が有名になったのはつい三日前のことである。あの日、たった一時間にして父は一躍日本中の注目を浴び、あたしも学校一有名な生徒となった。

ああ、大抵の人が誤解をしているだろうから言っておく。別に父は五輪でメダルを取ったわけでもなければ、ノーベル物理学賞を受賞したわけでもない。彼に与えられたのは、メダルでも賞でもない。あたしに向けられる視線は憧れの類ではないし、送られてくる手紙はラブレターでもファンレターでもない。

あたしの父に与えられたのはただ一つの称号。

そしてあたしもこう呼ばれるようになった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4013i/>

Cross Square 1

2010年10月10日04時44分発行